

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2022年4月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで59年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2023年6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2022年4月度ギャラクシー賞月間賞

tvk 開局 50 周年特別番組「ライブ帝国 ザ・ファイナル」

4月2日放送 14:00~17:55 19:00~21:50 テレビ神奈川

tvk だからこそそのライブ映像のアーカイブを、余計な演出なしに、しかし唸らせるような選曲、構成でたっぷりみせてくれた。まさにロックステーションとしての矜持。あたかも日本のロック 50 年の濃厚なエッセンスをみるかのような、さすがとも言うべき生放送の 7 時間。多くの話題をさらったことも頷ける。

ドキュメンタリー「解放区」「ブラッド・ゴールド」～アマゾン先住民の闘い

4月3日放送 24:58~25:58 TBSテレビ

アマゾンの不法伐採・金採取の現実には久々の海外取材で迫る。大河を埋めるかのような不法砂金採取船の群れの映像は恐怖すら感じる。裏取りの弱さは否めないが、ブラジルがここまで腐敗しているのだという実態の報告は鬼気迫る。採取に使う水銀による汚染に警鐘を鳴らす価値も高い。

連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」

2021年11月1日～2022年4月9日放送 8:00～8:15 日本放送協会

物語の面白さを堪能させてくれる藤本有紀の脚本が見事。上白石萌音、深津絵里、川栄李奈もそれぞれ好演で、最後まで楽しませてくれた。「女性の一代記」という王道の側面もありながら、三代 100 年というアイデアによってその王道が巧みにアップデートされた。歴代朝ドラの引用など、メディア史的な観点からも興味深い作品であった。

4 月度の「映像の世紀 バタフライエフェクト」

4月4、11、18、25日放送 22:00～22:45 日本放送協会

膨大な映像アーカイブの中から毎回キーワードを設定し、現代に至るまでそれらがどのようにつながっているか紐解いていく。そのキーワードとエピソードの選別が秀逸で、ひとりの罪や勇気が連鎖し、大きなうなりになっていくのがよくわかる。「現在」が確かに歴史の上に成り立っているのだとありありと証明している。

★詳細は月刊誌「GALAC」2022年7月号に掲載します